

オーケストラ・プライベート・エクイティ、ケンタッキーフライドチキン韓国事業を買収

KFCのグローバル・ブランドオーナーであるYum! Brandsから
「サブフランチャイズ権」を与えられ、韓国での事業拡大を計画

2023年 4月 27日

オーケストラ・プライベート・エクイティ(以下、オーケストラ)は、ケンタッキーフライドチキン(KFC)の韓国事業である株KFC 코리아(以下、KFCK)の全株式を取得しました。今後、成長を支援するための追加資金を提供する可能性もあります。KFCの親会社であり、ブランドオーナーでもあるYum! Brands(以下、Yum)は、オーケストラが今回の買収用に立ち上げた特別目的ファンドにも投資家として参加しました。

現在、KFCKは韓国全土に約200店舗の直営店を展開し、2500億ウォン(約255億円)程度の年間売上を記録しています。近年、KFCKは新メニューの導入や、「1+1チキンナイト」と呼ばれるなどの積極的なプロモーション活動等によって売上を伸ばし、顧客志向のアプリ開発や店内キオスクのデジタル化などにより効率的な店舗運営を追求し、黒字を大幅に増やしてきました。今後はモバイルアプリやキオスク等のデジタル化を推進し、店舗運営のさらなる活性化を実現していきます。

オーケストラは今回の買収交渉の過程において、Yumから新たに韓国における「サブフランチャイズ権」を与えられました。これにより、韓国国内におけるフランチャイズ展開が可能になりました。このような加盟店の拡大を通じて、現在進出が遅れているソウル市域外への店舗展開を進め、韓国市場での地位を固めながら、投資収益の最大化を図る計画です。

オーケストラのマネジャーであるチャン・ジェソクは、「KFCKは他の外食チェーンに比べて、韓国市場でまだまだ成長の余地があります。オーケストラは、KFCKの積極的なフランチャイズ店開設、特に大都市圏以外における進出を後押しし、積極的な成長を目指します」とコメントしました。

また、ブランド認知度の向上にも重点を置く予定です。KFCKのシン・ホサンCEOは、「世界的には認知度が高いブランドであるKFCですが、韓国市場でさらに発展できると考えています」と述べ、「オーケストラ、Yum、そしてKFCKの従業員が協力して、KFCを韓国のトップブランドに再度位置づけるために努力します」と述べました。

KFCアジア・フランチャイズのゼネラルマネジャーのルイス・リボットは、「オーケストラによるKFCKの買収に、心からお祝いを申し上げます。オーケストラの再生案件の実績、フランチャイザーとフランチャイジー間のパートナーシップに対する考え方、そしてKFCブランドに対するダイナミックな展望は、KFCKの可能性を最大限に引き出すのにふさわしいパートナーであると信じています。私たちは、オーケストラのチーム、そしてKFCKの経営陣と緊密に協力し、ビジョンを実現することを楽しみにしています」と述べました。

オーケストラがKFCKの買収のために設立したファンドは、6本目の特別目的ファンドとなります。これにより、累計約2.5億ドル(約350億円)の資産を運用することになりました。本件の財務アドバイザーはデロイト・アンジン会計法人、税務アドバイザーは税務法人WizTax、経営コンサルティングはBain & Company、法律アドバイザーはLAB Partnersがそれぞれ担当しました。

オーケストラ・プライベート・エクイティ 概要

オーケストラ・プライベート・エクイティは東アジアに基盤を置き、中堅・中小企業を対象にクロスボーダーを含む投資を行い、「グローバル・チャンピオン」への成長を支援するプライベート・エクイティ・ファンドです。シンガポールの拠点を通じて、主に日本と韓国に投資しており、投資先の価値の源泉を理解し、中長期的な企業価値創造に必要な知見・経験を適用します。また、投資先の経営陣と密に連携し、単体での成長および更なる地域拡大はもちろんのこと、強い経営陣の構築や経営基盤の強化、国内外における追加買収を通じたさらなる企業価値向上のお手伝いをいたします。詳細は www.orchestraprivateequity.com をご覧ください。この資料に関する問い合わせは information@orchestraprivateequity.com までご連絡ください。

KFC 코리아 概要

KFCコリアは、1984年にKFCによって韓国に設立されました。フライドチキン及びチキンバーガーを、韓国全土約200の店舗において提供しています。より詳しい内容は、<http://www.kfckorea.com> でご確認ください。